

議 事 録

作成日：2025 年 11 月 20 日

作成者：職員 T

会議名	令和 7 年度 第 1 回 地域連携推進会議	日時	2025 年 11 月 18 日(火) 10:30~11:30
出席者	N 様 T 様 H 様 M 様 I 様 GH サビ管 K 法人代表 M GH 管理者 T (敬称略)	場所	グループホーム モア cotori ハウス リビング

【議 題】

◆地域連携推進会議構成員の自己紹介

N 様 (ご利用者代表)
T 様 (ご家族代表)
H 様 (民生委員)
M 様 (就労継続支援 B 型 豆の木)
I 様 (黒埼地域保健福祉センター)
職員 K (グループホーム モア cotori ハウス サービス管理責任者)
法人代表 M (ケア・あんぶれら株式会社 代表取締役社長)
職員 T (グループホーム モア cotori ハウス 管理者)

◆地域連携推進会議について

・地域が連携することにより、下記 4 つの目的を達成するための会議です。

① 利用者様と地域との関係づくり

会議や施設への訪問を通じて、利用者様と地域の方との顔が見える関係を構築することで、利用者様が地域の中でより良い生活を送るための関係づくりを目指します。

② 地域の方への施設等や利用者に関する理解の促進

地域に開かれた施設になることを目指します。地域に開かれた施設になることで、施設や障害のある方の施設での生活に対する理解を促進するとともに、施設やその職員と地域の方との繋がりを促進することを目的としています。また、職員が地域の方を知るきっかけにもなり、施設と地域の方の双方向による理解促進が図られます。

③ 施設等やサービスの透明性・質の確保

地域に開くことにより、施設の運営やサービスの透明性を確保することが目的です。

④ 利用者の権利擁護

利用者の権利擁護とは、支援を必要とする人々の権利や尊厳を守り、その人らしい生活を支えることです。利用者様の思いがサービスに活かされているか、利用者様が希望する生活ができているかなどを話し合うことでサービスの質の向上を目指します。

- ・会議の開催と施設訪問(見学)を 1 年に 1 回以上開催を行います。
- ・利用者様やご家族の権利擁護のため個人情報を外部に漏らすことがないよう個人情報保護のご協力をお願いいたします。
- ・会議の構成員はご利用者、ご利用者ご家族、地域の関係者の方、福祉に知見のある方、経営に知見のある方、施設等所在地の市町村担当者等となっています。

◆共同生活援助(グループホーム)について

障がいのある方が身体・精神の状況や環境に応じて必要な支援やサポートを受けながら、共同生活をおこなうことができる住まいのことです。

主に相談・排泄・食事・服薬の支援をおこなっています。夜間や休日にも必要に応じた支援を提供しています。

利用者様の就労先や日中活動サービスとの連絡調整や余暇活動などの社会生活上の援助も実施しています。

◆グループホームの利用対象者について

- ・障害がある方（知的障害、身体障害、精神障害、発達障害、難病）
- ・支援があれば共同生活に支障をきたすことなく、自立した生活が送れる方
- ・18歳以上である（児童相談所長が必要と認める場合は15歳以上も利用可能）
- ・身体障害の場合は原則65歳未満ですが、65歳になるまでに障害福祉サービスを利用したことがある場合は引き続き利用可能

◆当グループホームについて

- ・サービスの種類は障害者を対象とした介護サービス包括型のグループホーム
- ・定員は5名（現在、男性3名、女性2名 入居中）
- ・事業は2020年9月1日より行っている。
- ・入居者様の障害支援区分（障害支援区分とは、障害者総合支援法に基づき、障害のある方がどの程度の支援を必要としているかを総合的に示す指標です。この区分は1から6までの6段階に分かれており、数字が大きいほど必要な支援の度合いが高いことを意味します。また、支援の必要性が低い場合は「非該当」とされます。）
当グループホームには区分2の方が2名、区分3の方が2名、区分4の方が1名入居されています。
- ・主な障害または疾患名は双極性障害（躁うつ病）、身体障害、精神遅滞（知的障害）、注意欠陥多動性障害。
- ・日中利用している主な事業所
就労継続支援B型
障害や年齢、体力などの理由から、一般企業などで雇用契約を結んで働くことが難しい方に対して、就労の機会や生産活動の場を提供している。
地域活動支援センターⅡ型
地域で暮らす障がいのある方に、創作活動や生産活動、社会交流の機会を提供する施設。
生活介護（デイサービス）
日中に、障害のある方へ食事・入浴・排泄などの介助サービスを提供する場。
移動支援
移動が困難な方に対してガイドヘルパーが外出の支援を行うサービス。

◆地域貢献活動

当法人で子ども食堂「かさっこ食堂」を毎月第2日曜日に開催。
カレーライスや炊き込みご飯、豚汁などを提供している。
今年の8月には黒埼まつりに合わせて開催をし、枝豆や焼きそば提供、外部事業者からの甘味・めだか販売を行った。

◆質疑応答

Q) どのくらいの年代の方が入居されていますか？

職員T) 60代が2名、50代が2名、40代が1名入居されています。

Q) 介護サービス包括型ですが、日中は職員の方はいますか？日中の支援はしていますか？

職員T) 緊急時の対応のため職員はいますが、外出などで不在の場合でも隣のリーベ善久には職員がいますので対応できる体制になっています。

Q) 食事はお昼も出ますか？土日でも出ますか？

職員T) 必要時、前もって教えてもらえれば注文可能です。土日でも出ます。

Q) 食事はリビングで皆さんで食べていますか？

職員T) 基本、皆さんで決まった時間にリビングで食べています。

I) 行事としておこなっていることはありますか？

職員 T) クリスマス会や新年に好きな食事を食べたりしています。入居者様と外食をすることがありますが毎月の行事としては行っていません。

I) 洗濯はすべてご自分でされますか？

職員 T) 基本はご自分でしていただいています。難しい方は職員が対応しています。

I) 子ども食堂はどのくらいの実績ですか？

職員 M) 今年の5月から始まり、9月は感染症の影響で開催はできませんでしたが、毎月約10～20名ほど参加されています。8月は黒埼まつりに合わせて夜に開催しました。牧場の方に依頼し、ポニーやうさぎが来た日もあります。

I) (こども食堂) どうやって周知していますか？

職員 M) 小学校や保育園、他事業所へチラシの配布をしています。コロナを心配されて積極的な交流に繋がらないケースもあります。

M) 日中は皆さんどこかへ行かれていますか？

職員 T) 基本、就労やデイサービスなどの事業所へ行かれています。

M) 以前は職員の方と一緒に外出していましたが今もしていますか？

職員 T) 以前は、毎週土曜日に職員と一緒に原信などのスーパーへ外出していましたが、買い物が早く終わる方や逆に時間がかかる方がいらっしゃったりと対応が難しくなってしまう、現在はしていません。今は個人で外出していただいています。

M) 入居者の皆さんで集まって意見を聞き取る場はありますか？

職員 T) 月1で行っている職員会議の中で入居者様の様子や対応などを話し合う場はありますが、入居者の皆さんと集まって話し合うことはしていません。

M) (こども食堂) 食材はどうしていますか？

職員 M) 協力先から食材の寄付をいただいています。足りない分はこちらで購入しています。

M) (こども食堂) どのくらいの想定で作られていますか？

職員 M) 40人程度の想定です。

H) インスリンは対応できますか？

職員 M) ご自身でできる方であれば対応は可能。平日は看護師がいるので、いる時間帯であれば見守りの対応はできると思います。日曜日は看護師が不在のため訪問看護を利用することは可能です。

H) 冷蔵庫はお部屋にも置けますか？

職員 M) 可能です。お部屋に置いている方もいらっしゃいます。

◆質疑応答後、施設見学を実施。